

# フィールドスタディー(平成26年秋)

シリーズ講座 郷土の歴史を学ぼう「考古学史を飾る埼玉の遺跡-埼玉の考古学史を学ぶ-」

## 原之城遺跡(伊勢崎市)

げんのじょういせき

③



① →



左は現在地と記された赤丸の位置に立っている説明板の  
図で上が北で下が入口のある南側

現在の道路(白い線)が遺跡を縦横に通っている

← ①

この道路は説明板の図の㊸で正面前方にその説明板が立っているの見える





# 原之<sup>げん</sup>城<sup>の</sup>遺<sup>じょう</sup>跡<sup>い</sup> せき

豊城町



原之城遺跡は6世紀中頃の<sup>ごうぞくきょかん墓と</sup>豪族居館跡です。昭和56年、大正用水東部土地改良事業に伴う事前の発掘調査で発見され、昭和58年から61年までの発掘調査で遺跡の規模や性格が明らかになりました。

居館は東西約110m、南北約170mのほぼ長方形で、幅約20mの<sup>ぼり</sup>濠がめぐらされています。全体の面積は30,000m<sup>2</sup>を超え、全国で調査された同様の遺跡では最大級のものです。

入口を南に設け、各辺には防御を目的として、<sup>どろい</sup>土塁をめぐらし張出部を築いています。居館内部は、北西部を溝で区画して<sup>ぼったてぼしら</sup>掘立柱建物の倉庫群とし、溝の南側中央に中心建物となる<sup>しめんがさし</sup>四面庇の掘立柱建物があり、その付近に大型の竪穴住居、南半部を中心に竪穴住居群を配しています。

北東隅からは、<sup>てづくね</sup>手捏土器や石製模造品、鉄製ミニチュア鎌、<sup>すえき</sup>須恵器の大型器台などが出土し、<sup>まだい</sup>農耕儀礼に伴う祭祀跡と考えられます。また、東辺中央南からは<sup>まじしあと</sup>楕円形の埴輪状土製品が出土しており、ここでも祭祀が行われたと思われます。このように壮大な遺構や祭祀に用いた遺物が数多く見つかり、当時の豪族の生活を知る貴重な資料を提供しています。

平成16年3月1日  
伊勢崎市教育委員会

正面の高まりは土塁の名残りとも言われる



説明板のところから東方向を見たところで、道路の左右に居館が広がっていた



説明板の反対側を見たところ



これは居館の東端を見たところで道路の前方に見える建物は大型ショッピングモール・スマーク





そこから㊸の方向を見たところで、この道路の右手の方に祭祀跡があったようだ



そこで振り返って南方向を見たところで、前方左手の向こうにも祭祀跡があったようだ



伊勢崎市立赤堀歴史民俗資料館

ここが赤堀歴史民俗資料館



## 原之城遺跡

原之城遺跡は6世紀前半に造られた豪族居館です。周囲を大きな堀で囲み、その中に竪穴建物や掘立柱建物などを建て、生活していたようです。また、居館の中でおまつりなども行われていたようで、多量の祭祀遺物も見つかっています。



原之城遺跡復元模型



掘立柱建物



竪穴建物と掘立柱建物



祭祀遺物と出土状況

これは原之城遺跡の模型



この縦横に走っている道路が見学で歩いた①と②/縦に走る大きな道路①の交差点よりやや右上が説明板のあったところ



これは伊勢崎市に所在する古墳の位置を示す説明板



## 伊勢崎の古墳を観る

3世紀末から畿内を中心として古墳の築造が始まり、毛野国（群馬県を中心とした地域）には、4世紀に畿内の大王との関係を持つ大型の古墳が次々と出現した。

伊勢崎地域では5世紀になると、お富士山古墳などの大型の前方後円墳が造られ、また太田地域では東国最大の天神山古墳が造られるなど、古墳の規模や副葬品から見ても、毛野地域は周辺の地域に比べて強大であったことがわかる。

しかし、6世紀前半になると、それまでの大型古墳から中・小規模の古墳に変わり、丘陵や台地上に密集して群集墳を形成する。こうした古墳の変化は、東国への大和政権の浸透が大きく影響し、毛野国が次第に大和政権の中に組み込まれていったことを物語っている。そして大和政権の下、上毛野国が成立していく。



# 古墳時代

古墳時代はその名のとおり、全国的に古墳が築かれた時代です。なかでも群馬県は非常に多くの古墳が築かれ、飛躍的な発展をとげた地域です。古墳時代の前半は地域の首長が葬られた大型前方後円墳が築かれます。市内にもお富士山古墳などが造られ、その繁栄を物語ります。



お富士山古墳



赤堀茶白山古墳



丸塚山古墳



古墳前期の竪穴建物と出土遺物【喜多町遺跡】



埴輪工房と出土家形埴輪【釜ノ口遺跡】

## 古墳時代

後半になると大小さまざまな古墳が築かれ、種類豊富な埴輪も多くみられるようになります。また、当時の有力者の居館も確認され、全国最大規模を誇る原之城遺跡なども発見されています。終末期になると古墳は徐々に姿を消していき、次の時代へと移り変わっていくのです。



鶴巻古墳



一ノ関古墳石室



本関町6号墳石室



阿弥陀古墳石室



出土瓦【本関町6号墳】

## 古代・中世

奈良時代になると律令国家が誕生します。中央  
政権は律令をのび渡し、さらに国を郡という単位  
に分け、国郡を定めていきます。三軒宮遺跡は古  
代伊勢神宮(皇極)の復元の跡で、国郡制の八角形  
遺跡が見つかりました。また遺跡は私塾を奨励し、  
律令にも上納品(倉、十三宝筒)の復元跡など  
の立派なおもてあがられました。その後、律令国家  
は滅び、武士の時代(中世)がやってきます。



奈良・平安時代  
この時代の遺跡は、主に  
木造の建物で、土器や  
瓦などの出土品も  
多く見られます。また、  
この時代には、仏教が  
盛んになり、多くの  
寺院が建てられました。



## 古代・中世

奈良時代になると律令国家が誕生します。中央政府は地方を60近い国、さらに国を郡という単位に分け、全国を治めていきます。三軒屋遺跡は古代伊勢崎(佐位郡)の役所の跡で、全国初の八角形倉庫が見つかりました。また政府は仏教を奨励し、市内にも上植木廃寺、十三宝塚遺跡(国史跡)などの立派なお寺も造られました。その後、律令国家は滅び、武士の時代(中世)がやってきます。



古代の行政区分



復元された大極殿

律令政府は全国を国、さらにひとつの国の中を複数の郡という行政単位にわけました。群馬県は上野国、伊勢崎市の大半は佐位郡に属していました。また都から各地に向かう道路(駅路)も整備されました。



塔跡【上植木廃寺】



遺跡全景【十三宝塚遺跡】



東山道駅路【矢ノ原遺跡】

## 上野国佐位郡正倉跡 一三軒屋遺跡一

三軒屋遺跡は古代佐位郡の役所跡の一部です。平成17年、殖蓮小学校の校庭で、全国初の八角形倉庫がみつき、さらにこの建物が古文書の記述に一致したことで、全国的に注目されている遺跡です。現在、国指定史跡の申請中で、もうじき市内4番目の国指定史跡になる予定です。



殖蓮小や公民館、幼稚園を中心とした広大な範囲が史跡に認定される予定です。発掘調査では大溝に囲まれた中に数多くの倉庫が見つかりました。



八角形倉庫



礎石建物



八角形倉庫の見つかった殖蓮小学校では、地域学習がさかんです。毎年、6年生が土器作りを行っています。文化財保護課の職員もお手伝いをさせてもらっています。

今回、6年生が製作した土器をお借りし、八角形倉庫をイメージし、展示いたしました。

の八角形  
る遺跡で



た稲蓮小学校  
です。毎年、  
ていますが、  
手伝いをさせ

た土器をお借  
ージし、展示

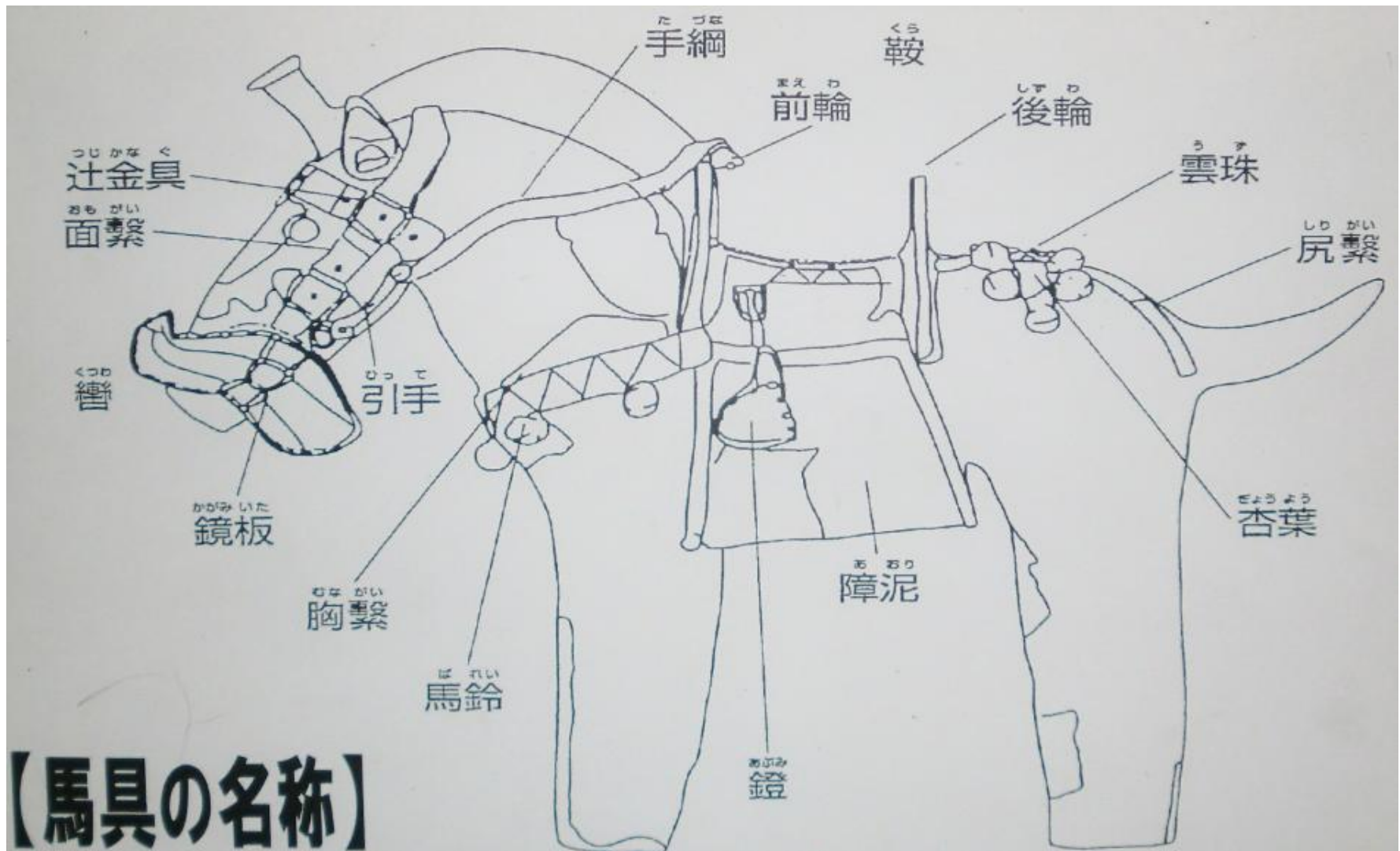


3次調査区全景(南から)

八角形の大型礎石建物は3次調査区で検出しました。建物の大きさは、東西、南北ともに約15メートルで、床面積が約182平方メートルになります。

こんなものも展示してあった



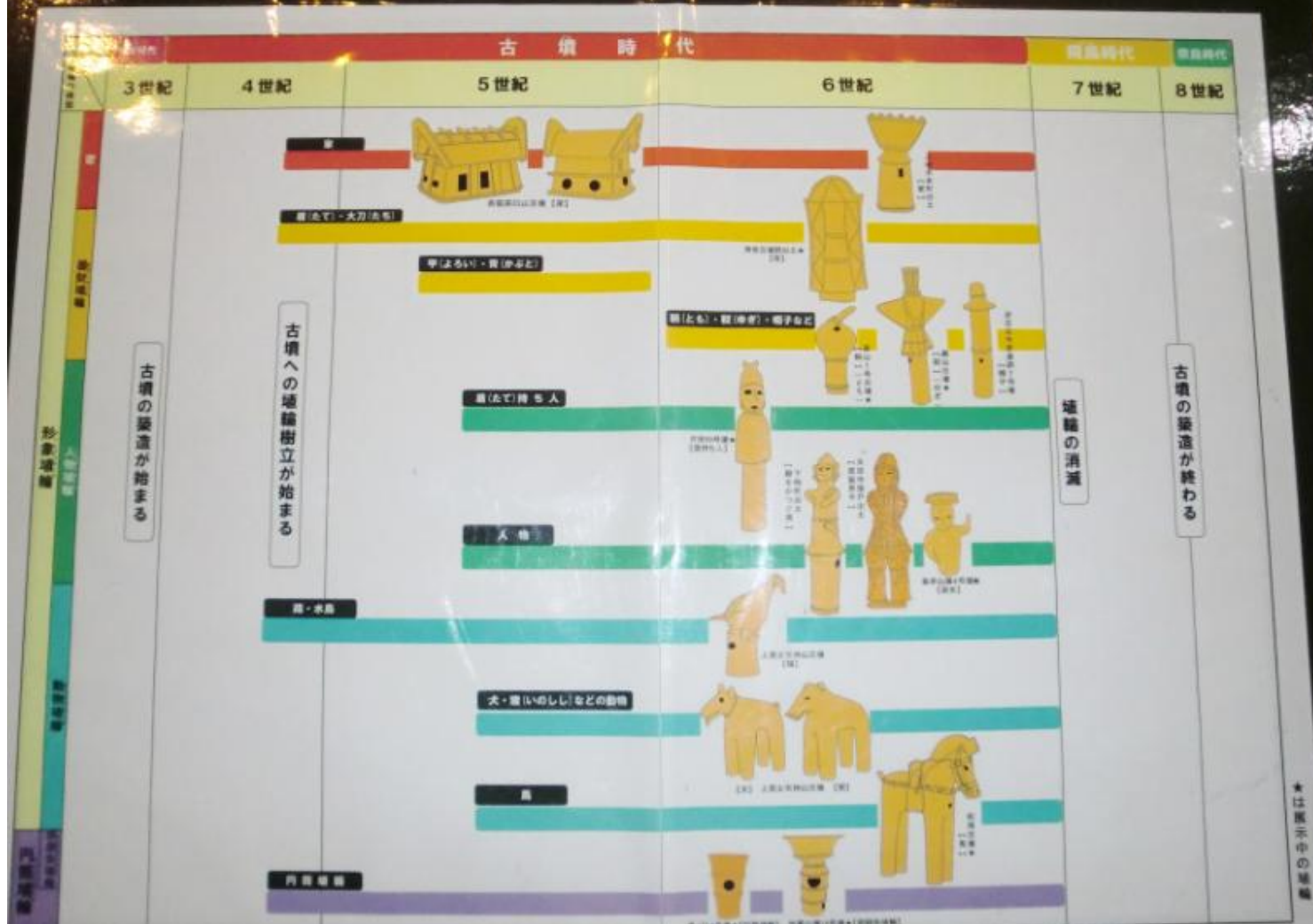


【馬具の名称】



埴輪の種類と時代

# 埴輪の種類と時代



家型埴輪は早い時期から出現しているようだ/これは赤堀茶臼山古墳出土の家型埴輪





切妻造の家 (模型)  
群馬県北吾郡吾妻町 高日山古墳出土  
正徳時代 五世紀  
群馬県立歴史博物館蔵

他にさまざまな家型埴輪も展示されている





複製品です。  
お取り扱いに際しては  
ご注意ください。

さて、屋外には台所山古墳の箱式石室が展示されている





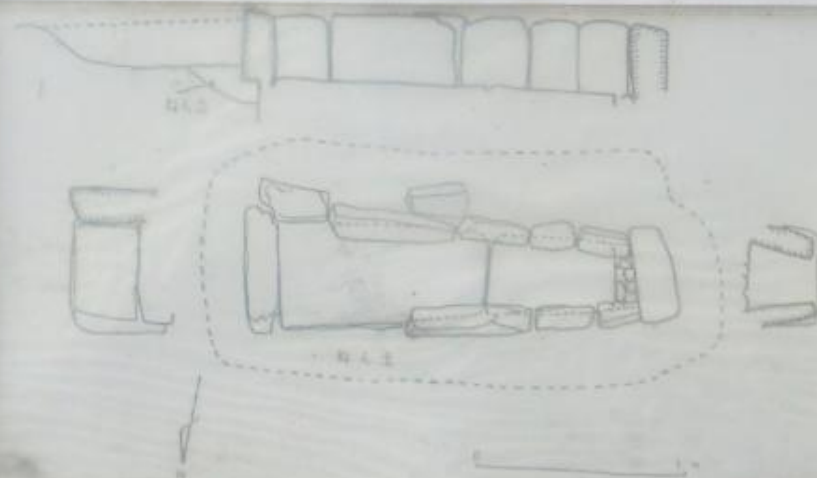




## 台所山古墳箱式石棺

この石棺は、昭和46年(1971)に華蔵寺公園北300メートルの波志江町地内の台所山古墳から出土し、市立北小学校に移されましたが、このほど北小学校の改築に伴い、資料館の玄関前に移設復元されました。

石棺は、今から1500年前(6世紀前半)に作られたものです。人がちょうど入れるくらいに、板状の石を組み合わせて作られていて、形が箱に似ているので箱式石棺といわれています。使われている石は、やわらかくて削りやすい凝灰岩という石です。死者を中に入れて石でふたをし、上は土で小高くおおわれていました。



台所山古墳石室実測図

岩宿遺跡(みどり市)

ここは岩宿遺跡



# 岩宿の里 ご案内

## 国指定史跡・岩宿遺跡



**岩宿博物館**  
 岩宿遺跡の展示場として、  
 自然の歴史と文化を伝える  
 展示場。お楽しみいただけます。

**岩宿人の広場**  
 平野の自然環境  
 1. 日本橋時代 2. 岩宿人の生活  
 展示場としてお楽しみいただけます。

**史跡指定遺跡 (A地点)**  
 1. 9年以上前の本格的な  
 人の生活の跡によるもので  
 指定した認定すべき歴史遺産です。

**岩宿ドーム (B地点)**  
 岩宿遺跡の中心となった  
 土曜が築かれた遺跡です。  
 歴史の一端の歴史と文化を  
 知ることができます。

**かたくり遺跡**  
 3月半ばから5月上旬に  
 咲くかたくりの花を  
 楽しむことができます。  
 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12.  
 楽しみいただけます。

岩宿遺跡・岩宿博物館

— 見学コース ——— ハイキングコース

P 駐車場 WC 屋外トイレ

♿ 駐車場

# 国指定史跡



これは岩宿遺跡の発見者、相澤忠洋の胸像



ここは岩宿ドーム(B地点)



内部は遺構保護観察施設となっている



振り返ると史跡岩宿遺跡(A地点)/説明板や石碑が立ち並ぶ





これはA地点(道路左手)、B地点(道路右手)を見たところで、左手は稲荷山、右手は琴平山



ここが岩宿博物館





建物の後方に見えるのが琴平山



# 岩宿博物館周辺案内図



これは江戸時代前期にこの地の灌漑に貢献した岡上景能の銅像



## 業績略記



# 中宿歴史公園(深谷市)

ここが中宿歴史公園/中宿遺跡(7世紀後半から9世紀にかけての榛澤郡の郡衙の正倉と推定される倉庫群跡)が発掘されたところ

## 中宿歴史公園ごあんない





復元された古代復元倉庫(校蔵造り)



中宿古代倉庫群跡を見る



埼玉県指定史跡

なか じゆく こ だい そう こ ぐん あと  
中宿古代倉庫群跡

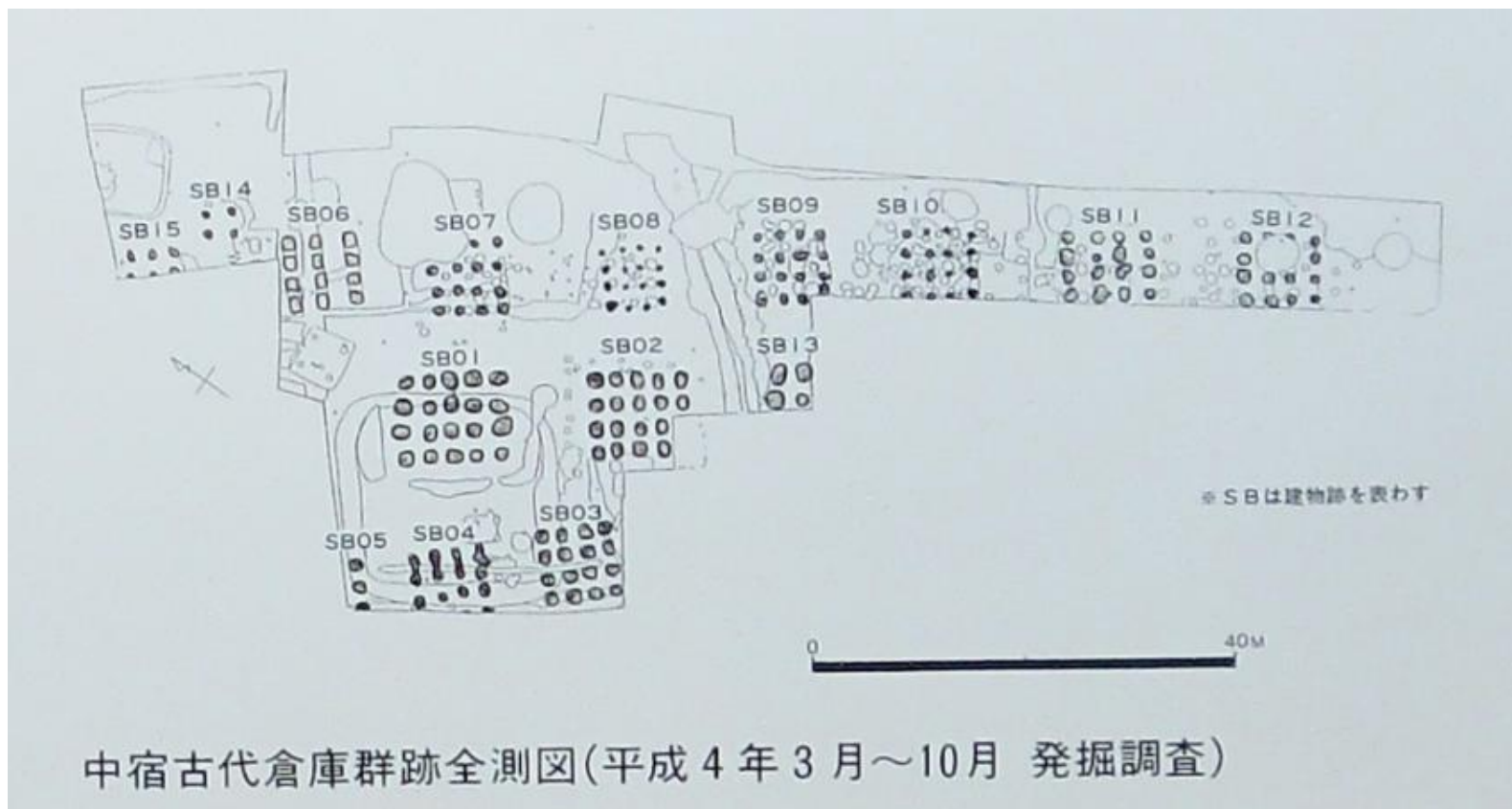
所在地 岡部町大字岡字中宿3286～2他  
指定年月日 平成3年12月6日

中宿古代倉庫群跡は、櫛挽台地の先端部に位置し、平成3年3月～10月まで岡部町教育委員会により発掘調査が実施された。調査された主要な遺構は掘立柱建物跡16棟、溜池状土壇5基、竪穴住居跡13軒、大溝等がある。出土した遺物は須恵器・土師器が中心となる。

これらのうち、遺跡の性格を最も特徴づけるものとして掘立柱建物跡があげられる。いずれも総柱式(柱を基盤目状に配置する方式)の高床倉庫跡が主体となり、7世紀末～8世紀代にかけての奈良時代を中心とした約100年間に建て替えされながら使用されていたものと推定される。その規模は最も大きい1号建物跡で床面積567㎡をはかり、埼玉県内において発見された建物跡の中では最大規模を有する。このような規模の建物跡は通常の集落跡から発見された例はなく、公的な施設に付属すると考えるのが最も妥当であろう。

現在の埼玉県は奈良時代においては武蔵国と呼ばれ、東京、神奈川の一部を含めた地域がひとつの行政単位となっていたが、このもとには21の郡が設置されており、岡部町周辺は「榛澤郡」と呼ばれていたことが当時の古文書等により明らかになっている。

中宿古代倉庫群跡はこの「榛澤郡」の役所(郡衙)の一部であろうと推定されており、周囲には郡庁(郡の最高責任者である郡司が政治を執る場所)・厨屋(食料の管理及び調理施設)・館(郡司の宿舎)等の諸施設が広がっている可能性が高い。さらに遺跡の周辺には和銅開珎が出土した内出遺跡や古代の瓦が出土した岡遺跡、奈良・平安時代の大集落である熊野、白山遺跡などがあり、これらとの関係を調べることにより、「古代都市」の景観が次第に明らかになるであろう。



※ 中宿遺跡についての詳細は別ファイル「中宿遺跡(深谷市)」を参照してください(そのため、ここでは略述しています)

## 参考ホームページ

<http://kdshiro.blog.fc2.com/blog-entry-1239.html>

[http://www.go-isesaki.com/kohun\\_gennojoh.htm](http://www.go-isesaki.com/kohun_gennojoh.htm)

[http://outdoor.geocities.jp/kojyo\\_annai/3\\_kanto/12\\_gunma/harano\\_iyou.html](http://outdoor.geocities.jp/kojyo_annai/3_kanto/12_gunma/harano_iyou.html)

<http://isesaki.jugem.jp/?eid=105>

<http://www.city.midori.gunma.jp/www/contents/100000000589/>

<http://inoues.net/ruins/iwaiyuku.html>

<http://palaeolithic.jp/sites/iwaiyuku/index.htm>

<http://www.gunmaibun.org/remain/guide/tomo/iwaiyuku.html>

<http://bunka.nii.ac.jp/SearchDetail.do?heritageId=204963>

[http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/63\\_okbe/nakajuku.html](http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/63_okbe/nakajuku.html)

<http://blog.goo.ne.jp/daidi/e/e1043312732f979e217c5802597a85b7>

<http://www.knet.ne.jp/~ats/t/hist/s5/nakajuku.htm>